

区内外の活動事例・施策等について

1. 本市のごみ施策に係る現状と課題 (「環境審議会廃棄物部会」資料 抜粋)

課題① 家庭系ごみのさらなる減量化・資源化

<現 状>

- プラスチック製容器包装とミックスペーパーの分別収集、普通ごみを週3→週2へ (H25.9～)

→資源回収量の増加、それを上回る普通ごみの発生抑制効果

平成 25 年度 普通ごみと主な資源物の収集量 (単位：ト)

項 目	平成 24 年度	平成 25 年度	対前年度
普通ごみ	267,759	250,435	▲17,324
ミックスペーパー	10,662	13,306	+ 2,644
プラスチック製容器包装	3,811	9,008	+ 5,197
計	282,232	272,749	▲ 9,483

- 川崎市一般廃棄物処理基本計画 (H17-27)

目標：資源化率 35% (家庭系・事業系)

実績：29% (H25)

- 生ごみリサイクルプラン (H19-27)

目標：平成 27 年度までに、1 人 1 日あたりの生ごみの 100 g 減量を目指す

実績：基準年度 (平成 17 年度) 290.7 g →平成 24 年度の推計値 182 g

⇒108 g 減

<課 題>

- 分別のわかりやすさ、ごみ減量と資源化に向けた取組、集積所の環境美化などが必要

(参考) 中原区のごみの現状

・家庭系ごみ 1 人 1 日当たり排出量 (g)

家庭系ごみ = 市収集普通ごみ・粗大ごみ・資源物

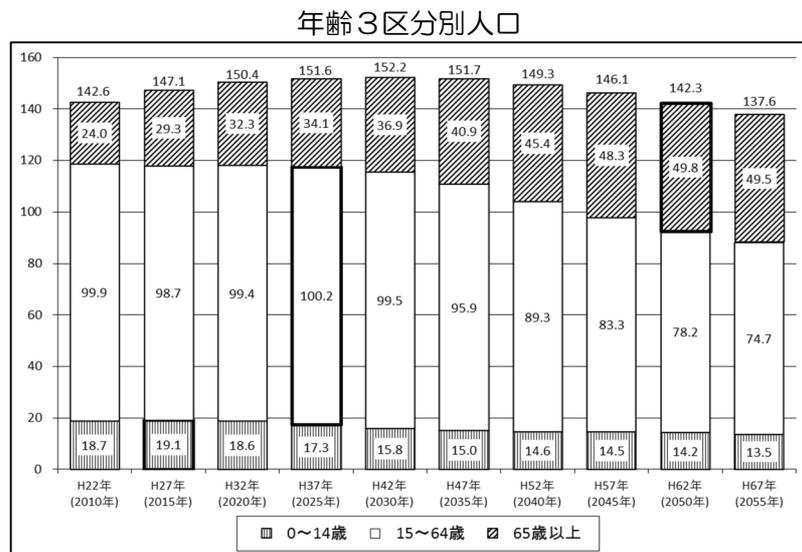
	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
23 年度	652	603	576	630	630	605	605	616
24 年度	641	596	562	617	618	604	603	606
25 年度	624	586	544	595	596	581	581	587

・区別で見た家庭ごみの資源化率 (%)

資源化率 = (市分別回収量 + 資源集団回収量) ÷ (家庭系ごみ量 + 資源集団回収量) × 100

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
23 年度	23.1	27.8	27.9	22.1	21.1	27.0	24.0	24.6
24 年度	22.8	27.5	27.5	22.8	21.6	27.2	24.3	24.7
25 年度	23.8	28.3	29.0	27.4	26.3	31.0	28.5	27.7

課題② 本市における人口増加と今後の少子高齢社会など社会構造の変化への対応



<現 状>

●ふれあい収集

自分でごみを出せない方（65歳以上の独居高齢者・障がい者など）を対象とした直接収集
→平成25年度実績…1日平均24.2件、

普通ごみ・粗大ごみ・資源物で計1,425世帯

●川崎市安心生活創造事業「集合住宅における見守りモデル事業」

①モデル実施地区 市営宮内住宅（中原区）、市営鷺ヶ峰西住宅（宮前区）

②実施期間 平成24年11月～平成26年3月

③事業概要

市営住宅で、自治会長を中心に入居者及び社会福祉法人、区役所保健福祉センター、地域包括支援センター等の連携協力のもと、地域の見守り体制の構築に向けた支援を行う。

- ・住民による、ひとり暮らしなどの高齢者等の孤立死防止
- ・介護保険制度の対象とならない状態の人のカバーと生活支援
- ・「見守り」について基盤を整備し充実を図る

④実施結果

- ・自治会長や地域の見守り支援者による日常的な見守り活動を行い、定例会を開催して、定期的に情報共有を行った。
- ・「買い物」「電球交換」「家具の移動」「ごみ出し」など有償にしたほうが気兼ねなく利用できるといった意見があった反面、「関係づくりをしたい」との意見も多く、しばらくボランティアで続けることとなった。

<課 題>

- 平成42年度まで予定される人口増加や少子高齢社会の進展による排出実態の変化を考慮し、今後の対策を検討していくことが必要

2. 川崎フロンターレと連携した広報

1) 「ミックスペーパー・プラスチック製容器包装分別収集フォローアップポスター」

平成 24 年 市環境局 作成

川崎市内各ごみ収集所、市内掲示板等 1 万部作成



2) 武蔵小杉駅周辺の散乱防止及び路上喫煙防止の重点区域拡大 (平成 26 年 3 月)

ポスター、クリアファイルを作成し啓発



3. 市廃棄物減量指導員制度

(「環境局事業概要—廃棄物編—」資料抜粋)

1) 制度の概要

担当課：市環境局生活環境部減量推進課

内容：ごみの減量とリサイクルを推進するため、町内会・自治会など住民組織団体から推薦をいただき、特別職として市長から2年間の任期で委嘱。ごみ減量とリサイクルの地域ボランティア・リーダー、市と市民のパイプ役として活動していただく制度

役割：①減量の普及啓発、②リサイクル活動実践の指導、③排出方法の順守指導、④廃棄物行政に関する意見及び情報の提供

支給品：指導員証明書・ハンドブック、腕章、帽子
(活動時等必要に応じて提示・着用)

協議会：各区に情報交換、活動活性化を目的として設置。年3回程度の会議開催、見学会や勉強会など

2) 中原区の現状

全市で1,877名（平成26年11月1日時点）

定数は、各町会・自治会で1名、271世帯を超える場合は270世帯までごとに1名の割合で追加（11月現在 338名）

4. 多言語資料 （資料「環境局事業概要－廃棄物編－」抜粋）

ごみと資源物の分け方・出し方（年1回発行）の多言語版作成

- ・普通ごみ、資源物、粗大ごみ等の出し方について説明した資料
- ・日本語ルビつき、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語
- ・区情報コーナー、区役所、市民館、図書館、国際交流センター等で配布

5. 第4回 CC等々力 エコ暮らしこフェア

- ・平成26年5月18日（日）等々力緑地にて川崎フロンターレ試合時の競技場付近で開催
- ・CC等々力（市、川崎フロンターレ・富士通川崎工場、市公園緑地協会）主催
- ・4つのエリアに分かれた多彩な体験・参加型のブース等で、子どもから大人まで遊んで楽しみながら“エコ暮らし”を学ぶ

<p>～子どもエコパークエリア～</p> <p>防災エコグッズ作り体験、オリジナルエコバッグづくり、エコラフト作り、移動天文車アストロカー&水平コマ型日時計づくり、環境かるた遊び、分別クイズ、ふあふあ、モリオンによる花の種配布、エコドライブシミュレーター体験、地球環境基金ポスターエコちゃんず3Dフォトフレーム など</p> 	<p>～フロンパークエリア～</p> <p>丸太切り体験、苔玉作りワークショップ、自転車Eco学園、イッツコムエコブース、有機バナナチョコレート、エコ気球、燃料電池電車乗車体験、食品サンプル作り、CC等々力出前一丁！ゲーム など</p> 
<p>～中原区エコカフェエリア～</p> <p>マジシャン「ミヤモ」ECOマジックショー、エコロジーオープンカフェ、かわさきエコキャラクイズ大会、環境すごろく、パイオビーズ、矢上川の生きもの、エコ座環境紙芝居、スタンプラリー抽選会場 など</p> 	<p>～海・川エコエリア～</p> <p>エコ水中生物ロボット講義、粘土イルカ作り、「テルマエロマエII」エコブース など</p>  

6. 3R推進デー 川崎純情小町☆広報大使就任

- ・毎月原則3日を3R推進デーとして集積所での分別排出指導やキャンペーンや展開
- ・2013年、ご当地アイドル「川崎純情小町☆」を広報大使に任命
- ・推進ソング「3Rでハッピーデイズ！」
(2014.4.1 リリース・非売品の無料配布用CD)
♪リデュース リユース きれいな街へ リサイクル
動画アドレス：
<https://www.youtube.com/watch?v=seUQG3-pRi0>



7. 転入者配布資料について

区役所ブースにて、次のような関連資料を配架

※直接配布は数時間待ちも発生する窓口対応の状況の中、廃止。

- ・「資源物とごみの分け方・出し方」(冊子)
資源物やごみを出すにあたっての分別の仕方、相談窓口や連絡先等を掲載
- ・「かわさき生活ガイドのご案内」(チラシ)
本市の行政サービスをはじめとして、生活に必要な情報冊子をご案内

8. NPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントの早朝清掃活動 (同法人ホームページから引用)

- ・毎月第1土曜日 午前8時～実施 悪天候の場合等は中止
- ・11月は悪天候のため中止。12月6日(土) 午前8時実施
参加者/大人27人、子ども18人 計45人
- ・エリアマネジメントの旗を先頭に、2班(グランツリー周辺～コアパーク/横須賀線口～高架下)体制で活動 (以下、ホームページからの画像)



9. フロントアレーで毎日元気いっぱい！！推進事業

川崎フロントアレーと人形劇団ひとみ座（ひょっこりひょうたん島）とのコラボ事業

- ・ フロンタ、ワルンタ、フーランの人形劇で地域貢献や広報活動に活用。
- ・ 平成 25 年度テーマ：「正しい生活リズム」
- ・ 区内 8 保育園と中原子ども未来フェスタで実施→述べ 1,400 人を動員
- ・ 概ね好評、保育園関係者だけでなく、地域からの参加者拡大などが今後の課題



10. スポーツ GOMI 拾い（日本スポーツ GOMI 拾い連盟公式サイトから引用）

【内 容】 予め定められたエリアで、制限時間内にチームワークでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合う

【競技者】 1 チーム 5 名。チーム名をつける。参加チーム数の制限はなし

【用 具】 軍手、ごみ袋、トング（チームに 1 本）、計量器

※軍手、ごみ袋、計量器の個数、ゴミ袋の大きさ等には制限なし。

※たばこの吸い殻のみ、別途用意したレジ袋等で集める。（得点集計法が異なるため）

【ルール】

- ・ 競技時間 60 分（厳守）。時間中の休憩や水分補給は自由。
- ・ 各チーム、リーダー 1 名を届出。小学生以下だけで構成されるチームには、審判員（保護者など）を 1 名入れる（審判員は、チーム人数に含まない）。
- ・ 指定されたごみを拾うエリアを守る。（安全に楽しく参加できるエリアを設定）
- ・ 競技中は走らない。チーム員は先頭と最後尾が 10m 以上離れないようにする。
- ・ 計量はチームごとに行う。
- ・ 終了後、集めたごみは自治体の分別方法にしたがって指定の集積場所で処分する。

【違反項目】（発見された場合は減点対象）

- ・ 人員オーバー
- ・ 制限時間オーバー
- ・ 指定以外の用具の使用
- ・ 学校や個人宅等の私有地に侵入する
- ・ ごみに水を含ませる
- ・ 粗大ごみを拾う
- ・ 街のごみ箱やごみの集積場所からごみを拾う
- ・ 故意にごみをつくる
- ・ 一定のごみだけ狙い、目に付いたごみを拾わない

【分別方法とポイント】

- ・ たばこの吸い殻 1g×1ポイント
- ・ たばこの吸い殻以外のごみ 1g×0.5ポイント
- ・ 違反行為…1 つにつきマイナス 100 ポイント

1 1. 仙台市ワケルネット

- ・仙台市のごみ減量・リサイクル情報総合サイト
- ・ごみ分別キャラクター、キャンペーンの有名事例
- ・ワケルくん（7・3分け）やそのファミリーをキャラクターとした総合情報サイト
- ・ワケルくんのプロフィール設定なども話題に。／<http://www.gomi100.com/>



1 2. ごみ減量日本一を目指した取組

- ・多摩市 ごみ減量日本一を目指した情報誌などの発行（別紙）
 - ・掛川市 ごみ総排出量について環境省実施の統計（一般廃棄物処理事業実態調査）における1位（最少量）を目指し、1位となるための推計値を年度の目標として設定。（掛川市ホームページから引用）
- ※都市環境、人口等規模が異なること、人口推計値や排出量の内容等が異なることなどから、単純に上述の都市との数値の比較はできない。

参考事例 〔企業における取組事例〕

- ・イトーヨーカドー武蔵小杉店、グランツリー武蔵小杉などにおける取組
ペットボトルや古紙・雑誌類を回収し、その重さによって nanako ((株)セブン&アイ・ホールディングスによる国内展開の電子マネー)) のポイントを加算。



NEWS RELEASE

2012年4月16日
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
株式会社トムラジャパン

**セブン&アイ・ホールディングス、トムラ・ジャパンと共同で
ペットボトルの新たな回収・リサイクルシステムをグループ店舗に導入
大手小売業による初の「ペットボトルとペットボトル」リサイクル**

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(東京都千代田区、代表取締役会長 鈴木 敏文)とトムラ・ジャパン株式会社(東京都大田区、代表取締役社長 三浦 洋一)は、このたび、ペットボトルの店頭回収・リサイクルシステムを導入いたします。自動回収機を入口とした新しい物流・パートナーと連携したこの「ペットボトル to ペットボトル」の循環型リサイクルは、大手小売業全体での取組みとして初となります。

本年4月中旬にイトーヨーカドー25店、ヨークマート11店の合計36店舗を導入を開始し、2012年2月までに、上記2社の関東エリア内の全店舗約300店舗に拡大する予定です。さらに、グループのヨークベニマルについても、今後、導入を検討してまいります。

<新たな店頭回収・リサイクルシステムについて>

- ・大手小売業で、飲料メーカーと連携した「ペットボトル to ペットボトル」のリサイクルシステム
- ・スーパーの店頭で自動回収機を設置、利用者に特典を発行して資源回収への参加を促進
- ・お客様にご提供するリサイクルポイントは、電子マネー「nanaco」のポイントとして交換可能
- ・自動回収機が容器をその場で識別・選別し、資源価値の高い資源を大量に回収
- ・回収した資源を飲料メーカーに輸出し、飲料メーカーと連携して国内でペットボトルを再製
- ・「循環型リサイクル」の輪を構築し、スーパー店舗がもととなって地域のリサイクルを推進

<新システムのスキーム>

(株)セブン&アイ・ホールディングス広報資料

<新システムの特長>

- 電子マネー「nanaco」との連携
セブン&アイグループの独自電子マネー「nanaco」と連携し、「nanaco」カード・モバイルを自動回収機でも利用できるなど、ペットボトル1本あたり2リサイクルポイント(=50円)をこまめに500リサイクルポイントを貯めると、換算するポイント交換機末機の操作により、「nanaco」ポイント50ポイント(=50円)と交換が可能(ポイント交換は本年6月開始を予定)
- オペレーションの改善
自動回収機の設置は、通常のボックス回収に比べ店舗の負担が軽減
・減容機(圧縮または破砕)で、燃焼するペットボトルを回収した現場で減容、回収容器の交換作業の軽減、保管場所の削減、輸送効率の向上に貢献
・選別機能で、異素材の容器を除去、資源物としての流通を促進
- 地域・環境貢献
今回の新システムは、店頭での回収資源を効率よく輸送し、国内で循環型リサイクルを行う一環で行うものであり、よりいっそうの地域環境に貢献
トムラ・ジャパンはシステム全体の提案・コーディネートを行い、自動回収機、ポイントシステムを自社で開発・導入、パートナー企業ともこのシステムを持続的に運用します。
資源のリサイクルは協栄産業株式会社が担当し、メカニカルリサイクルの手法でペットボトル原料を製造いたします。サントリー等の大手飲料メーカーがその原料を用いてペットボトル原料を製造し市場に流通させます。資源の輸送については、セブン&アイグループの既存物流ルートの活用を旨、効率の高い輸送ルートづくりを工夫して運用いたします。
お客様がスーパーの店頭にお持ち込みいただいたペットボトル資源が、効率よく運ばれ、国内で資源し、再び食品原料としてお客様のもとに届くこのシステムは、今後の社会システムとして注目されています。
- 提唱主導、消費者参加型の資源回収・リサイクル
・資源の国内循環
・高効率・低運搬負荷の資源回収・リサイクル

<ご参考>
当事業はペットボトルの店頭回収モデルとして、平成23年度環境省支援事業への協力もを行いました。
「家でCO₂排出量の少ない新たなリサイクル技術を活用した、汚れの少ないペットボトル回収システム構築及び再ペットボトル化ビジネス支援事業」

以上

(株)セブン&アイ・ホールディングス関連の小売店
に回収機器を設置して回収